

所沢演芸会 高円寺亭押忍軽 (大石 守康)

寄席と申しますのは落語を中心とする様々な演芸を寄せ集めた興行、そして人を寄せ集めるという意味。今回のところざわ寄席は落語が3人、講談1人、昭和歌謡1人、演歌と民謡1人、お囃子2人。

まずは開口一番の登場は荻灯亭舞香さん。亭号はてきとうていと読み、荻窪の認知症予防講座にて落語を演られている女性です。とても明るく親しみやすい高座での幕開けとなります。

お次は事例亭文太。じれっいてと読みます。あちこちの寄席から声がかかる大変な人気者。軽快なリズムで笑って下さい。

三番目は昭和歌謡の木村明美さん。高い技術で昭和20年代の歌謡を当時の雰囲気演奏する木村さん。懐かしい気持ちで、みなさん一緒に歌って下さい。

途中休憩を挟みまして、講談の高円寺亭押忍軽。オスカルと読みます。人間国宝神田松鯉に師事して6年。硬いイメージの講談だと思いたしますが気軽にお楽しみ下さい。

落語のトリが関東アマチュア落語界の重鎮。荻灯亭ばん喬。本寸法の古典落語で所沢に江戸の風を吹かせます。そして寄席を締めくくるのが、演歌と民謡のぎんちゃんです。

最後は会員の皆さんも一緒に踊る炭坑節。笑う野老(ところ)にハッピーが来る!

春風が心地良くなる季節、是非一緒に笑いに来て下さい。